

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード市場)
代表者名：代表取締役社長 姜 輝
問合せ先：管理本部部長 鎌田 文明
(T E L : 045-317-7888)

IoTセンサーを活用したセルフ・ヘルスケア製品 ヘルスケアモニターの販売開始のお知らせ

この度、ウインテスト株式会社は、株式会社TAOS研究所及び奈良県立大学と共同で開発をしていた、心電波を用いたヘルスケアモニター（以降「製品」と言う。）の販売を2026年1月1日より開始いたします。

記

1. セルフヘルスケア製品の概要

本製品は毎日使うトイレの便座の上にシート（カバー）を貼付け、そのシートにバイタルセンサー及び圧力センサーを内蔵、使用中に体の心拍（心電波）、呼吸などのデータを取得、得られたデータをクラウド・サーバに送り個人認証を行った後、体の健康度を解析し数値化してユーザーにお知らせします。当製品は1台で6名まで登録を行う事ができ、個人認証は測定したバイタルで行われます。プライベートな空間にカメラを持ち込むことなく、プライバシーに配慮した製品です。なお、個人データはパスワードで個別に保護されます。

解析の内容は、心拍数、呼吸数、応変率（病気耐性度）、ストレス、慢性疲労、血管年齢、血圧そして解析方法で株式会社TAOS研究所が特許を取得している、揺らぎ健康度となります。これらの指標をわかりやすくグラフでユーザーのスマホ、またはタブレットやパソコンでWEBサイトを通じてパーソナルデータとして見ることができます。週間サマリーやリアルタイムでの表示も可能としており自分の健康状態を把握し、未病の発見や、習慣病そして老化を原因として起こる体の不調などを見ることができます。

一般的な個人向けヘルスケアモニター製品には腕時計タイプのものがポピュラーですが、「脈拍」の計測を中心とし、原則一人用の製品となっております。また日々の充電も気に掛けつつも腕に着ける煩わしさから、一部の若年層のためのファッションアイテムとしての要素が高い製品といえます。しかし当社の製品は、日々の健康状態を継続的にモニターでき、未病の予防に使えるデータ蓄積型である必要があります。また、万が一の場合はそのデータを医療関係者に提示できる必要もあるかもしれません。加えて少子高齢化の進行とともに見守りを必要とする離れた家族のために使えば、更に用途が広がります。

本製品は、脈拍ではなく「心電波（脈波）」を計測、AI分析を行い、総合的な健康状態の管理から持病などの経過観察にも使うことが可能となり、この製品の潜在能力は大きいといえます。

2. 製品の特長と動作

この度販売を開始する「製品」は、これまでのライフスタイルを変えず、日常生活のなかで毎日使用する便座にセンサー付きカバーを装着し、着座を検知した後に自動本人認証を行い、生体データを収集、毎日の健康データを管理できます。サーバーはデータを瞬時にAI解析し、例えば心電波から心電図や脈波に分解、脈波から個人の血管年齢（動脈血管硬化度）、連続血圧、ストレス（疲労度）や免疫耐性度などの分析を行い、

ユーザーは生体データから日々の生活習慣の見直しなど健康管理に役立てることができます。

3. ソフトウェアアップデートで搭載予定の新機能（見守り機能）

見守り機能としては、着座中に心電図データや血圧の変化をリアルタイムでモニタリングしますので、急激な異常値等が検出された場合（いきむことにより脳などの血管に異常が発生した場合など）や、長すぎる着座、転倒などが検知された場合、緊急アラートがプッシュで予め指定された端末に届きます。

4. 製品の用途など

本製品は民生用途となりますので、医学的な検査や検診等には使用できません。また、病院や介護施設等へ向けた患者様又は被介護者様のIT管理補助システム用としての業務用製品と、日々の体調管理や大切なご家族様向けの個人向け製品の両サービスを同時にご提供いたします。

5. 販売方法

現在販売のご協力を頂いているウェルコンサル株式会社（大阪市生野区巽中）様を通じての販売及び乙仲を通じ量販店での販売を計画しております。そのほか代理店様とも協議をしており、明確になり次第順次当社WEBページなどでお知らせいたします。

6. 売上計画

初年度の売上は約1万セットを予定しており、向こう5年間（2030年）までに累計で10万セットの販売を目指します。

7. 今後の見通し

本事業が、2025年12月期の業績に与える影響は、軽微ですが、本格販売が始まる2026年12月期の業績に与える影響については精査中であり、判明次第速やかに開示にてお知らせいたします。

以上

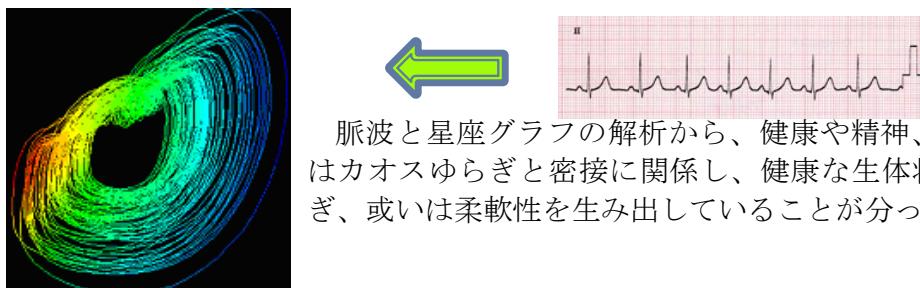
一 資料 一

1. 解析アルゴリズムのご説明（株式会社TAOS研究所）

脈波（脈拍ではありません）から様々な生体データの分析が出来る理由について以下にご説明いたします。

「健康な生体は《ゆらぎ》に満ちています。」

人の心身の健康状態は生体のあらゆる器官の機能活性状態によって決まりますが、その局所的な機能構造は常に変化しており、その変化は、脈波のゆらぎ（カオスゆらぎ）を総合的に解析することで、その人の固有の健康状態や心理状態を解析することが可能となります。その結果を可視化して、星座グラフで表示することに成功しました。

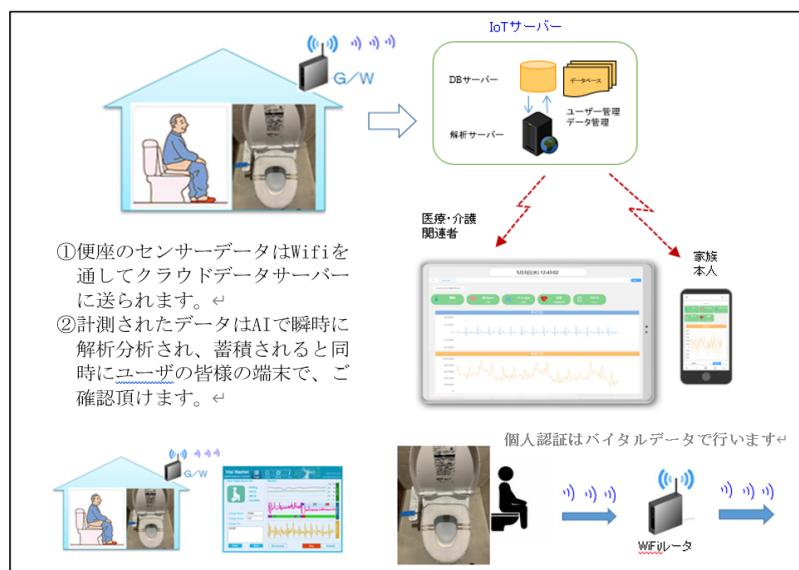


脈波と星座グラフの解析から、健康や精神、心理状態、それらはカオスゆらぎと密接に関係し、健康な生体状態は積極的にゆらぎ、或いは柔軟性を生み出していることが分ってきました。

- ①健康な生体の多くの生理機能はパターンや位置配置は異なるものの《ゆらぎ》（図の黄色線）的挙動を示します。生体はゆらぎに抗い外界からの変化を避けるのではなく、脱周期的なカオスゆらぎを持つことで生理的にも心理的にも適応性や柔軟性を生み出しています。つまり、健康（元気）とは、ゆらぎに満ちている状態であり、不健康や疲労やストレス過剰状態になると適切なゆらぎが消失し、ゆらぎが過少になったり過剰になったりすることがわかりました。
- ②ゆらぎの構造（かたち、パターン）は、リラックス、集中、快、不快、疲労などの情動やある種の精神的緊張（興奮など）の状態、そして回復過程などを反映した波形パターンと密接に関係しています。これは自律神経の働きがそのままパターンとして現れることを意味します。つまり、何らかの病気を原因として血管を含む内臓の働きが異常になったり、疲労や精神不安心理状態や生理状態が不安定になると、ゆらぎの構造は単純化、或いは無構造化、ストレート化します。その結果、生態リズムには機械的で単純な周期現象が現れ、ゆらぎ成分が少なくなるのです。

これらのことから、心身ともに健康（元気）とは、単に臓器の「故障」がない、ということではなく、心身全体が調和し個人をとりまく環境とバランスをとりつつ調和している状態なのです。センサーで捉えた脈波のゆらぎ（から作成される星座グラフ）は、被測定者（自分）が置かれている環境での健康状態を表しています。

3. 以下に「健康管理システム」の全体イメージをご紹介します。



「製品」についての説明

1) 自動計測・クラウド通信とリアルタイム通知機能

便座に被せるシートに着座検知センサーと生体センサモジュールを埋込み、それらセンサーは一体化したワイヤレス機器（小型）に接続されています。

計測、収集された生体データはインターネット回線を通じて、クラウドIoTサーバシステムに転送され、AI解析が行われ、万が一異常を検出した場合、指定した宛先にプッシュでお知らせします。正常時においてもリアルタイムに計測中のデータのモニタリングが可能です。（スマホ又はPC/タブレットの画面参照、表示される情報を以下に記載します）

2) インターネット経由で見られるWebサービス結果の表示項目について

- 心電図 ECG、心弾図 BCG の波形表示
- リアルタイムでステータスと経過時間の表示
 - ◆着座状態と経過時間の表示
 - ◆着座から離座と経過時間の表示
 - ◆着座時の体動状態と経過時間の表示

・生体データ計測

- ◆心拍数表示およびグラフでの心電図、心弾図表示
- ◆1分間の呼吸数を表示

・心拍異常の検知

- ◆総合的な血管壁硬化の指標であるPWV血圧を評価し表示

これは、ECGとBCGを用いたPTT（脈波伝送時間）法により血圧変化の推測を行い、動脈硬化度と血圧の両者を併せて推定する手法です。以下は表示例です。



※ご利用に際しましては、トイレ内にコンセントが必要ですが、「温水洗浄便座」設置済みのご家庭では、そのコンセントから分岐して使用します。またご自宅内にインターネット（WIFI）環境が必要となります。ご自宅にインターネット環境がない場合、月額300円で通信環境オプションをご用意しております。コンセントの工事が必要な場合は、別途工事費がかかる場合がございます。

※結果のご確認端末スマホ、タブレット等は含まれていません、ユーザー様にてご用意ください。

以上